

11月22日

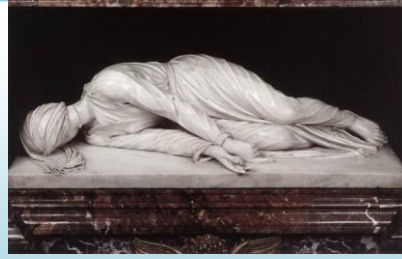
殉教者おとめセシリア

Caecilia/Cecilia

伝説によると、3世紀に殉教したと言われる。ローマの貴族の家に生まれ、父は元老院議員であった。彼女の夫ヴァレリアヌスはローマの兵士でキリスト教徒を迫害する立場にあったが、セシリアの導きによりキリスト教徒になる。彼の弟ティブルティウスも洗礼を受けた。約一年後、二人の兄弟は、キリスト教徒として訴えられ、棄教を拒んだために死刑となる。セシリア自身が訴えられるまで5カ月ほどあったが、その間彼女は、自分の財産を貧しい人に分け、自分の土地にカタコンベを建設し、自宅を聖堂として提供した。

セシリアが貴族の出身であったため、死刑を隠そうとした裁判官は、彼女を家に連れて行き、サウナのようなローマ式の風呂場に閉じ込めて、24時間火をたきつけて、湯気で窒息死させようとしたが、彼女は死ななかった。そこで死刑執行人が仕方なく刃物で彼女の首を切りつけたが、途中で恐ろしくなり、半殺しの状態で逃げ出してしまった。セシリアは、3日間苦しんだ後に、天に召される。

遺体は聖カリストゥスのカタコンベに葬られ、9世紀にローマ市内に移されて、彼女の名のついた聖セシリア教会が建てられた。彼女の遺体は1599年にこの教会が修復された時、腐敗していない生きた姿のままで発見されたという。それは顔



by マデルノ 1600年

だけうつむき、両ひざを合わせて静かに横たわる姿であった。その姿を形取った美しい大理石の彫刻が聖セシリア教会主祭壇下に安置されている。伝記における一つの文章、「セシリアは心のうちで、神に音楽を奏でていた…」という結婚式の描写から、セシリアはオルガンと教会音楽の守護聖人とされている。

(M)



『天使と聖セシリア』

by ドメニキーノ

(1618年)

ルーヴル美術館

全能の神よ、あなたはみ力と恵みによって、聖なる殉教者おとめセシリアに苦難に勝ち、死に至るまで忠実である生涯を与えられました。どうか恵みをもってわたしたちを強め、どのような迫害にも耐え、主イエス・キリストのみ名を忠実に証することができますように、主は父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられます。

アーメン